

目 次

序章	1
1. 「大学アーカイブズの世界」の形成	1
2. 本書の構成と内容	3
3. 世界と日本の「大学アーカイブズの世界」	8
第 I 部 大学アーカイブズの理念と課題	13
第 1 章 大学アーカイブズの理念的研究	14
1. はじめに	14
2. 「自己点検・評価」という名の“夢”	16
3. 大学の目的と大学アーカイブズ—「教育研究」と「管理運営」—	23
4. 大学アーカイブズの理念と収集資料	28
5. 結びにかえて—アカウンタビリティとアイデンティティ—	31
第 2 章 大学アーカイブズの社会的使命	42
1. はじめに	42
2. ソレは「チガウ！」—「大学史」と「大学アーカイブズ」—	43
3. 資料の「収集」ということ	47
4. 「トータルアーカイブズ」としての大学アーカイブズ —「機関アーカイブズ」と「収集アーカイブズ」—	48
5. 公文書管理法と大学アーカイブズ	51
6. 資料へのアクセス—「公開」について—	54
7. 結びにかえて—「教育研究」のアカウンタビリティ—	60

第Ⅱ部 大学アーカイブズの設立と法制	65	5.4 大阪大学文書館の取り扱う資料	
第3章 大学文書館の設立—広島大学文書館を中心として—	66	5.5 古文書と大学アーカイブズ	
1. はじめに	66	6. 年史編纂と大学アーカイブズ	103
2. 広島大学文書館の設立経緯	67	7. 結びにかえて—もう1つのミッションと戦略形成—	107
2.1 広島大学五十年史編纂事業		第5章 国立大学アーカイブズ設置への道	113
2.2 森戸辰男関係文書整理事業		1. はじめに	113
2.3 情報公開法		2. これまでの国立大学アーカイブズ	114
2.4 国立大学法人化		2.1 大学史編纂と資料保存	
3. 広島大学文書館設立時の現状と課題	71	2.2 情報公開法—「機関アーカイブズ」への指向—	
3.1 規則		2.3 公文書管理法—「機関アーカイブズ」としての大学アーカイブズ—	
3.2 組織		2.4 小括	
3.2.1 公文書室	3.2.2 大学史資料室	3. 大阪大学アーカイブズの設置経緯	121
3.2.3 運営委員会と運営支援		3.1 五十年史編纂事業	
3.3 人員		3.2 アーカイブズ設置への動き	
3.4 施設		3.3 大阪大学アーカイブズの目的	
3.5 活動		3.4 大阪大学アーカイブズの概要	
4. おわりに	85	4. 今後国立大学で大学アーカイブズをつくるには	128
第4章 ポスト年史編纂でない大学アーカイブズの設立	89	5. おわりに	133
1. はじめに—大学アーカイブズの設置現状—	89	第6章 規定にみる国立大学アーカイブズ	137
2. 大阪大学の歴史の概要	90	1. はじめに	137
3. 大阪大学における文書館設置への動き	92	2. 国立大学アーカイブズの設置根拠	138
4. 大阪大学文書館設置準備室の活動と課題	94	2.1 国立大学法人化以前	
4.1 体制		2.2 国立大学法人化以降	
4.2 業務		3. 国立大学アーカイブズの目的・業務規定	142
4.3 課題		3.1 目的・業務の規定の仕方	
5. 大学アーカイブズの理念と大阪大学文書館のミッション	99	3.2 資料の名称	
5.1 大学アーカイブズの理念		3.3 収集・整理・保存	
5.2 大阪大学文書館のミッション		3.3.1 収集	3.3.2 整理
5.3 大阪大学文書館の目的		3.3.3 保存	
		3.4 公開	

3.4.1 閲覧	3.4.2 公開	3.4.3 利用に供する	3.4.4 活用	4.3 今後の大学アーカイブズ設置の契機—私立大学への期待—
3.4.5 展示				5. おわりに 205
3.5 調査研究				第9章 公文書管理法への国立大学法人の対応と課題 …… 209
3.6 その他				1. はじめに 209
3.7 情報公開法と個人情報保護法				2. 法人文書管理規則の制定 210
4. おわりに 157				3. 「国立公文書館等」の指定 213
第7章 国立大学アーカイブズにおける法規上の問題点 …… 162				4. 大学アーカイブズによる評価選別 220
1. はじめに一問題の限定— 162				5. 「国立公文書館等」を有さない国立大学法人はどうなる? 224
2. 国立大学法人文書管理規程の問題点 163				6. 大阪大学の対応 227
2.1 行政(法人)文書管理規程の制定				7. おわりに 230
2.2 広島大学法人文書管理規則の問題点				
2.3 京都大学の問題点				
3. 国立大学アーカイブズ規程の問題点 170				第Ⅲ部 大学アーカイブズの活用 …… 233
3.1 京都大学大学文書館の問題点				第10章 アーカイブズを利用しよう …… 234
3.2 名古屋大学大学文書資料室の問題点				—広島カープと広島大学・広島高等師範学校—
4. 「活用」か「公開」か 176				1. はじめに 234
4.1 科学研究費研究会での議論				2. 広島総合大学設立運動とカープ創設 235
4.2 アーキビストの倫理綱領に照らして				3. カープ応援歌と広島高師応援歌 243
5. 国立大学アーカイブズ利用規則の問題点 181				4. アーカイブズへ行こう
6. おわりに 185				—わたしの、あなたの、そして《み》んなのアーカイブズ— 244
第8章 公文書管理法と国立大学アーカイブズ …… 190				第11章 建学の精神と大学史編纂・大学アーカイブズ …… 254
1. はじめに 190				1. はじめに 254
2. 公文書管理法上の国立大学法人の位置づけ 191				2. 広島大学の場合 255
3. 公文書管理法の課題と問題点—「独立行政法人等」に即して— 192				2.1 初代学長森戸辰男の広島大学構想
3.1 レコードスケジュール				2.2 大学改革案における「建学の精神」
3.2 文書廃棄の危機				2.3 「建学の精神」の「発見」、再評価
4. 大学アーカイブズの設置—大阪大学を中心に— 201				2.4 理念5原則の制定
4.1 数少ない国立大学アーカイブズと法人文書廃棄の危機				3. 大阪大学の場合 261
4.2 大阪大学における文書館設置に向けての取り組み				3.1 司馬遼太郎の大阪大学観と国立大学法人としての中期目標
				3.2 懐徳堂・適塾と大阪大学

目 次

3.2.1 適塾	3.2.2 懐徳堂
3.3 懐徳堂・適塾の「発見」—沿革史における扱い—	
3.3.1 大阪帝国大学創立史	3.3.2 大阪大学二十五年誌
3.3.3 大阪大学五十年史	3.3.4 OSAKA UNIVERSITY 60
3.3.5 大阪大学創立 70 周年記念写真集	3.3.6 2008 年現在
3.3.7 小括	
3.4 「研究第一主義」	
3.5 「地域に生き世界に伸びる」	
3.6 初代総長の影響—第 11 代総長山村雄一にみる—	
4. おわりに—大学アーカイブズの必要性和意義—	280
あとがき	285
索引	291